

挨拶

平田 直（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト総括）

平田総括は、地震災害に対するレジリエンス力を高めることが本プロジェクトの中心的な課題であるにも関わらず、今回、台風の話を中心に持ってきたことについて「自然災害によって被害が発生して社会が影響を受け、応急対応から復旧・復興をするというプロセスは、実は原因が地震である場合も台風である場合も共通しているところが多い」と語りました。さらに、「首都圏の地震災害を考えるときには広域の被害についても考えることが重要だと思う。そこで今回はあえて台風災害を中心に据えて、広い範囲が被害を受けたときに、それを正しく認識し、現状を把握し、認識を統一するところから始まって、どうすれば災害に対応できるかということまでをぜひ皆さんと考えていきたい」とこの日のシンポジウムの意義について述べました。



今回のシンポジウムの意義について説明する平田氏